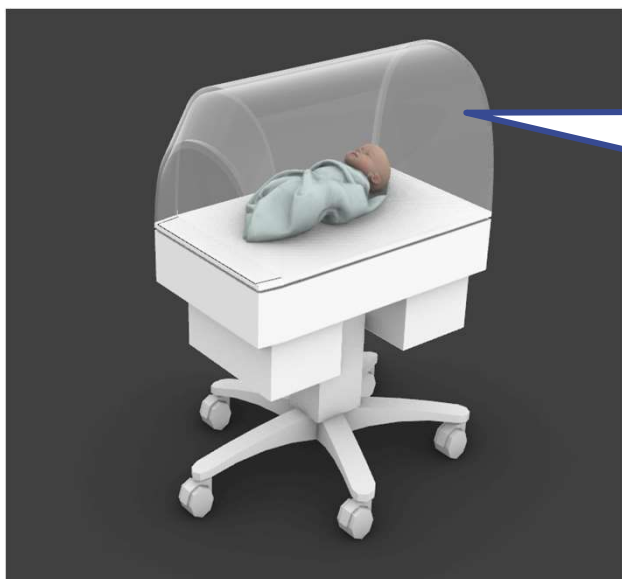


## 新技術の概要

- ・ 保育環境改善フードを備えており、
- ・ 保育環境改善フードは、内壁と外壁との間に**内部空間**を有する中空の本体部と、
- ・ 内部空間に充填される**液状又はゲル状の遮音物質**と、を有する**保育器**、及び、**保育環境改善寝具**

- 内壁と外壁との間に形成される**内部空間内**に**液状又はゲル状の遮音物質**が充填されて構成される**保育環境改善フード**により、**保育スペース内の児に伝わる外部環境音を減少**させることができる
- これにより、保育スペース内にいる**児が落ち着いて過ごすことのできる室内環境を実現**することができる
- **液状又はゲル状の遮音物質を充填**させることによって、中空構造だけの場合よりも遮音性を高めることが可能である
- 羊水で満たされた胎内環境を模すことで、保育スペース内を、**胎内と同じような遮音環境**に近づけることができる



《保育環境改善フード》  
液状又はゲル状の遮音物質  
を充填させた中空構造

## 本技術のアピールポイント

- ・ **新生児が落ち着いて過ごすことのできる保育環境を提供**



Tokyo Tech

お問い合わせ先：  
東京工業大学 研究・産学連携本部  
E-mail: : thioki@sangaku.titech.ac.jp  
TEL: 045-924-5171 URA 日置 孝徳

## 用途分野

- ・ 保育環境改善寝具

## 特許情報

発明の名称 保育器、保育環境改善フード及び保育環境改善寝具  
発明者 秦猛志, 秦元気, 松井一樹, 山田瑠, 與田仁志  
出願人 国立大学法人東京工業大学、  
学校法人東邦大学  
出願 特願2020-136513 (出願日:2020/08/12)  
公開 特開2022-32598 (公開日:2022/02/25)  
本学整理番号 20T203